

山岡光広議員が一般質問

6月定例議会は6月6日から7月1日まで開かれました。日本共産党の山岡光広議員は18日の本会議一般質問で、①「幼児教育・保育の無償化」、②「市民交流駅」の課題、③土山S.A.における観光ポラントニア復活、④県が策定をすすめる小児救急医療再編計画と甲賀病院、⑤「放射線副読本」についての5つのテーマで実態調査に基づき問題点を指摘、改善を求めました。「市民交流駅」問題は、市議会で初めて取り上げました。



JRとの「乗車券販売手数料」契約見直し 駅舎の改善・駅職員の処遇改善迫る

JR草津線の油日・甲賀・寺庄・甲南の4駅は、JR西日本の簡易委託駅。駅舎は甲賀市が建設し、甲賀市とJR西日本の間で「乗車券類簡易委託販売契約」を結んでいます。駅の管理業務は、甲賀・寺庄・甲南の3駅は甲賀市観光協会に、油日は油日駅を守る会に委託しています。

山岡議員が今回問題にしたのは、切符等の販売に対してJR西日本から甲賀市に「手数料」が入りますが、普通乗車券は5%、定期乗車券は1.8%とわずか。山岡議員は「平成29年度実績では3駅の販売額は1億5121万7190円もあるのに、甲賀市の手数料は563万595円と僅か。JRは儲けているのに委託料はなし。維持管理費は甲賀市が支出。JR西日本の契約を見直しすべきではないか」と指摘しました。これに担当部長は「JRと協議していききたい」と回答しました。

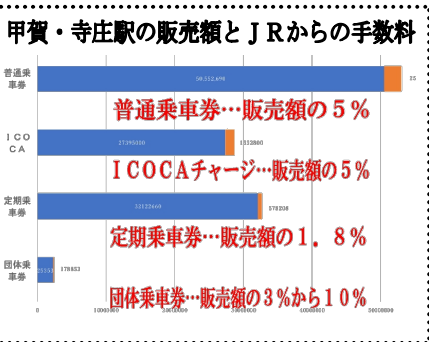
レがない、せめて二番ホームに簡易トイレを、自由通路の窓が施錠している、北口の利用が制限されている。寺庄・甲賀駅はトイレの便器が冷たい、寺庄駅とトイレ間に小屋根を、など具体的に指摘し「利用者の

利便性」のため改善を求めました。これには具体的な改善の回答がありませんでした。

駅職員の処遇改善については、実際は6時30分から勤務しているのに契約は「7時から20時」となっている問題について指摘。「6時30分から改める」と回答。また時給が滋賀県の最低賃金（839円）となっていない問題については、「例えば2006年の最低賃金は662円、その時の時給は800円。その後最賃は引き上げられているのに時給は変わっていない」とグラフを示しながら、「時給を引き上げるべき」と迫りました。

山岡議員は、滋賀県内で同様の簡易委託駅となっている長浜市内7駅の状態調査をもとに「この駅で乗車券を購入すれば、甲賀市に5%入ってくるなどの看板を設置したらどう

か」と提案。これには「具体的に検討する」と回答がありました。

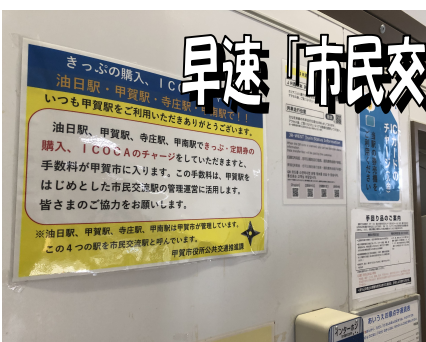


10月実施予定の「幼児教育・保育の無償化」については、幼稚園・保育園とも3歳から5歳児は全員が対象ですが、0歳から2歳児は住民税非課税世帯のみが対象です。山岡議員の質問に「6月1日現在認可施設で3歳～5歳は2165人、0歳～2歳で住民税非課税は60人」と回答。そのうち「現行制度で無償となっている児童は406人。無償化の対象外となるのは635人」との回答でした。

10月実施予定の幼児教育・保育の無償化

甲賀市の独自施策で無償となっている部分については「無償化の対象となるよう検討をすすめてまいりたい」と市長が答弁しました。給食費については今後原則実費徴収となるとの答弁でしたが、再質問で市長は「今後の検討課題である」と回答しました。

甲賀市の独自無償化対象は「継続したい」



早速「市民交流駅」に掲げられました。早速「油日駅・甲賀駅・寺庄駅・甲南駅で切符・定期券を購入、ICOCAのチャージをしていただきますと手数料が甲賀市に入ります」という内容の張り紙（写真）が各駅に張り出されました。

今年も原水爆禁止国民平和大行進

原水爆禁止世界大会成功へ、核兵器のない世界へ、今年も国民平和大行進甲賀湖南コースが15日、甲賀市役所前を出発して湖南市役所西庁舎まで歩きました。行進には、約70人が参加。日本共産党甲賀市議員団も、副市長や副議長の激励を受け力強く行進しました。



やまおかみつひろ
山岡光広 市議会議員 活動報告

2019年7月7日
第770号